

## (2) モデル地区調査 ② 長野県伊那市

- SDGsアイデアシートを通じた企業呼び込みについて、地域の金融機関2社から意見を聞取り。
- 企業向けPR資料を作成。企業1社と現地調査、聞取りを実施。

### 《SDGsアイデアシートに対する意見》

#### 【金融機関】

- ・企業のSDGsへの貢献は、融資や取引先との契約条件となりつつあり、企業はSDGsに自ら関わる必要がある状況。
- ・しかしながら、企業は農業の多面的機能や地域の共同活動について知らないため、連携構築にはまず農業の多面的機能や共同活動とSDGsとの関係をわかりやすく説明することが第一歩となるのではないか。

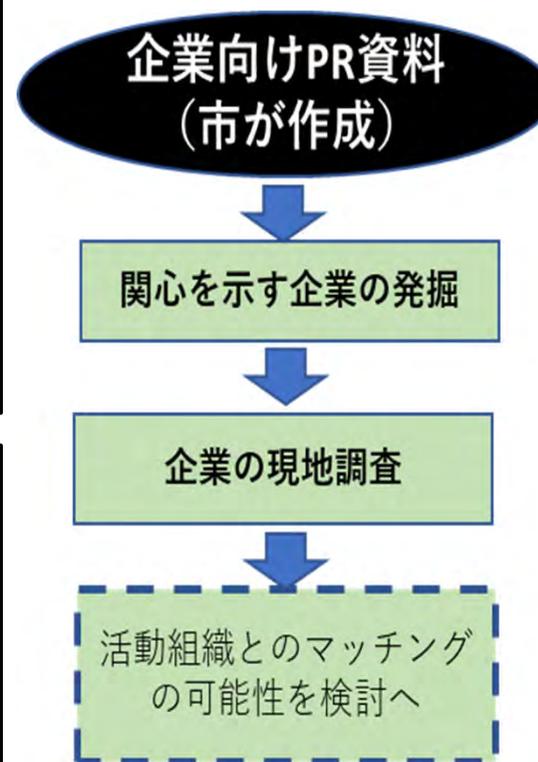
### 《企業向けPR資料に対する意見》

#### 【企業】

- ・SDGsに貢献しなければと思いつつも、何をしたらよいかかわからなかったが、PR資料を見て、活動組織との連携は地域と企業の双方にメリットがあり、SDGsにも貢献すると感じた。

#### 【市】

- ・ワーケーション推進の取組等と連携し、企業向けPR資料の改良や活用方法を検討していきたい。



企業による現地調査の様子



活動組織の環境保全施設



活動組織の水田



古民家を改装した宿泊施設

# (2) モデル地区調査 ② 長野県伊那市

社会貢献、SDGs にご関心のある企業の皆様、農業・農村での協働活動を通じて地域への貢献を考えてみませんか



## ■農業・農村の多面的機能を知っていますか

農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な米や野菜などを生産する役割を果たしています。しかし、それだけではありません。農村で農業が継続して行われることにより、私たちの生活に色々な『めぐみ』をもたらしています。この『めぐみ』を「農業・農村の有する多面的機能」と呼んでいます。

## ■農業・農村の多面的機能ってどんな機能ですか

例えば、水田は雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生きものを育んだり、また、美しい農村の風景は、私たちの心を和ませてくれるなどの役割を果たしており、そのめぐみは、地域住民はもちろん都市住民を含めて国民全体に及んでいます。

**田の水を貯める機能**  
田は、大雨の際、雨水を一時的に貯め、時間をかけてゆっくりと下流に流すことができます。

**川の流れの安定、地下水かん養**  
田畑に降った雨水は、水路を通じて、また地下水としてゆっくりと河川に還元されます。

**土砂崩れや水害の防止**  
長い間耕作が行われないと、雨水の貯留機能が弱まり、土砂がずれや水害が起きやすくなります。

**教育、体験、福祉、交流の場**  
田畑を活用した情操教育、農業体験、福祉との連携、都市と農村との交流を行うことができます。

**生物多様性の維持**  
田のなかにはプランクトンやそれを捕食する様々な生き物が生息しています。毎年、春の田植えの頃にはカエル、夏にはホタル、秋の稲刈り頃にはトンボが現れます。

**美しい景観、文化の伝承**  
農村の美しい景観は農業の営みによって形成され、伝統行事や祭りの多くは、農業に由来し引き継がれています。

図1 農業・農村の有する多面的機能の例

## ■農業・農村の多面的機能はどのように守られているのでしょうか

- 多面的機能は、農村で農業が継続して行われることにより保全・発揮されています。具体的には、以下のような地域の共同活動によって支えられています。
- 農業には水が必要です。また、大雨の時には農地からの排水が必要です。こうした用水・排水は、農村に張り巡らされた水路を通じて取り込んだり吐き出したりしています。
- こうした水路は、雑草が生えたり土砂が溜まったりすると流れが悪くなり農業生産に支障がでるだけでなく、例えば、排水が悪くなると水があふれて周辺の住宅や施設にも悪影響が出かねないため、農業者をはじめ地域の人々の総出で草刈や土砂さらいをすることにより、守られています。



水路、農地周辺の草刈 水路の土砂さらい 農道の補修

## ■多面的機能の保全活動は、SDGs 目標達成にも貢献しています



図2 多面的機能の保全活動とSDGs 目標との関係(例)

## ■多面的機能を守っている農村で高齢化と人口減少が進んでいます

これまで、草刈や土砂さらい等は地域の方々のみで行ってきましたが、将来を考えた場合、地域外の人にも共同活動に参加してもらわないと、多面的機能を支える水路や農地の保全、地域のコミュニティ活動が十分にできなくなってしまいます。

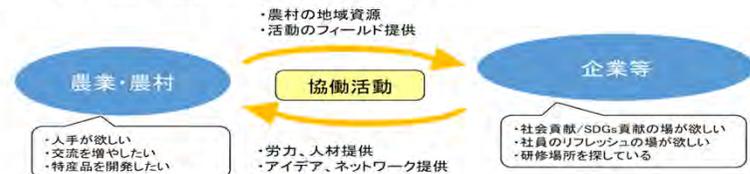


図3 外部の方々の参加によって期待される協働活動のイメージ

地域の方々との協働活動は、草刈や土砂さらいなどの農作業の手伝いから始まり、収穫の喜びを分かち合うことができ、地域コミュニティの活性化や、地域資源を活用したビジネスチャンスに結びつく可能性もあり、企業の皆さんにとって地域貢献、SDGs 貢献につながり、また、従業員の皆さんにとってリフレッシュの場になるなど多くのメリットがあります。

■農村との連携・地域への貢献にご関心をお持ちの皆様、是非一度、ご連絡、ご相談ください。連携・貢献に向けた地域とのつながりをサポートします。

問合せ先：〇〇(団体名) 〇〇(担当者) TEL: 〇〇  
資料：農林水産省ホームページ等から編集(作成：一般財団法人 日本水士総合研究所)

### (3) SDGs アイディアシート 試行調査

#### 1) 教育機関等との連携に関する調査

○活動組織を対象としたアンケート調査において、教育機関等との連携状況を把握するとともに、SDGs アイディアシートの記入を依頼し、SDGsへの取組の普及のあり方について分析。

##### (1) アンケート調査対象

対象組織 : 令和4年度に多面的機能支払に取り組んでいる活動組織から、都道府県別の組織数に応じて612組織を配分し、教育機関と連携している組織が5割程度となるように選定した組織

##### (2) アンケート調査期間

令和4年9月9日から10月7日(約4週間)

調査票を推進組織経由で配布回収(配布数612組織、回収数562組織 回収率92%)

アンケート回答組織のうち、SDGs アイディアシートに記入後、設問に回答した組織は347組織

##### (3) 調査実施主体

全国水土里ネットが「多面的機能支払交付金農業関係団体や教育機関等との連携に関するアンケート調査」として実施

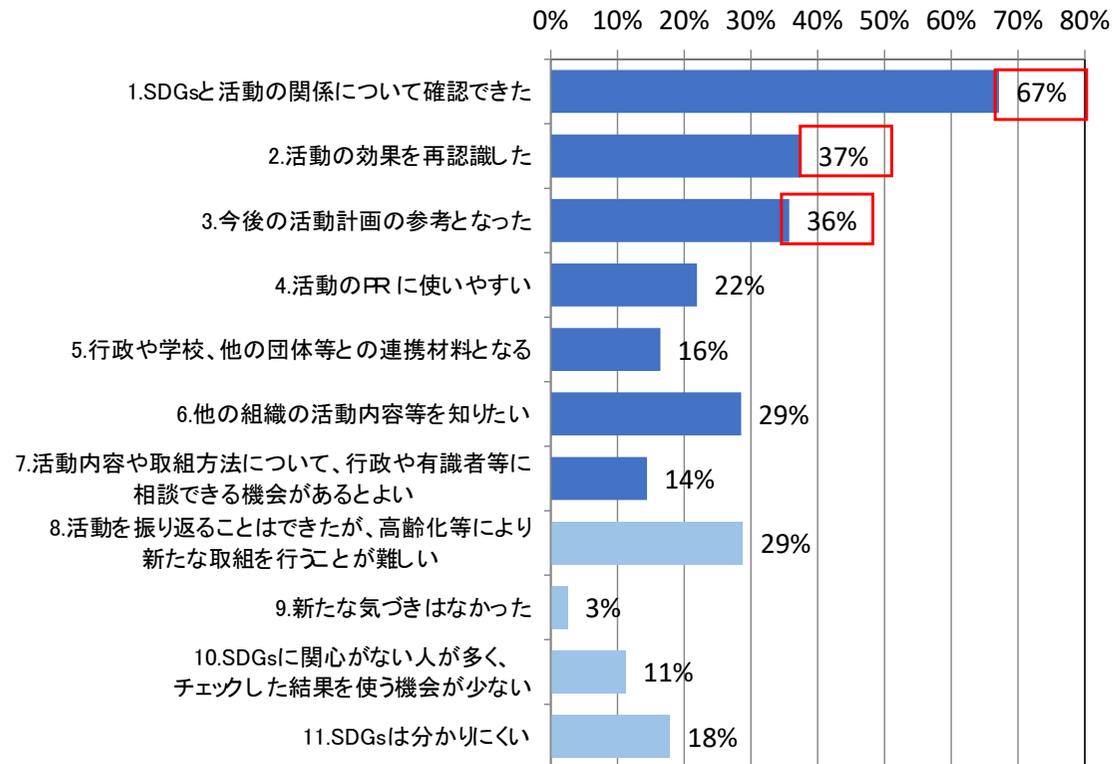
教育機関等との連携状況別組織数

教育機関と連携しているまたは、連携する予定がある	187組織	54%
連携してみたいが、具体化していない	46組織	13%
連携する意向はない	110組織	32%
無回答	4組織	1%
計	347組織	100%

# ①SDGs アイディアシートについて

- 4 組織14名を対象とした昨年度の試行調査では、SDGsが地域に浸透しておらず、SDGs アイディアシートを活用していくことは難しいという意見が半数以上を占めていたが、今回、対象組織を拡大して調査を行ったところ、「SDGsと活動の関係について確認できた」と回答した組織が最も多く67%を占める結果となった。次いで「活動の効果を再認識した」37%、「今後の活動の参考となった」36%となっている。
- 一方で、「活動を振り返ることはできたが、高齢化等により新たな取組を行うことが難しい」、「SDGsに関心のない人が多くチェックした結果を使う機会が少ない」と回答した組織も見られる。

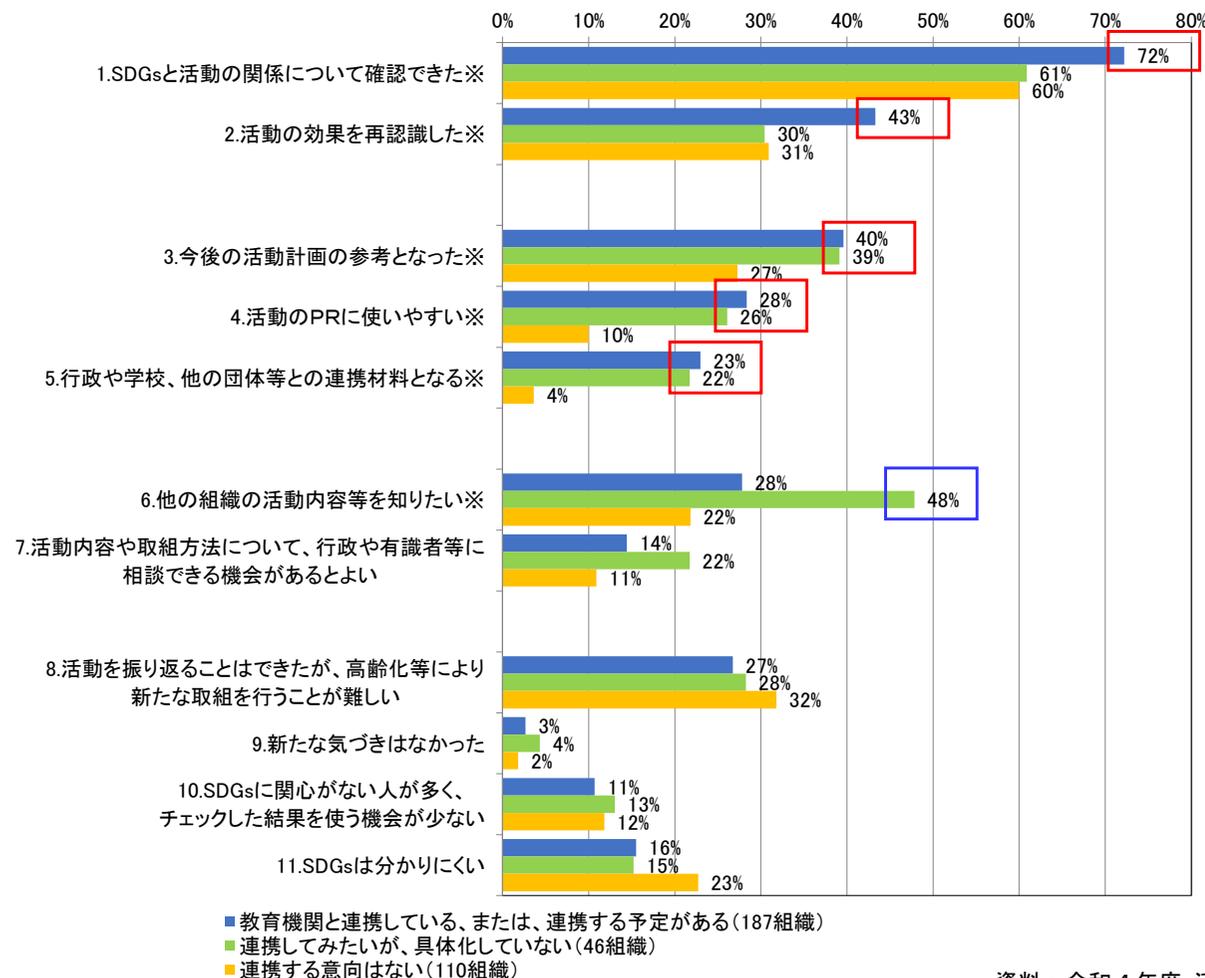
SDGs アイディアシートについて



## ②SDGsの取組と教育機関との連携について

- 各活動組織の教育機関との連携状況別に見ると、教育機関と連携しているまたは連携する予定がある組織（連携組織）は、「SDGsと活動の関係について確認できた」、「活動の効果を再認識した」と回答した割合が連携していない組織より高い。
- 連携組織と、連携してみたいが具体化していない組織（連携意向のある組織）は、「今後の活動の参考となった」、「活動のPRに使いやすい」、「行政や他の団体等との連携材料となる」と回答した割合が高く、SDGsの取組を教育機関との連携と合わせて行っていく方向性があることが示されている。
- 連携意向のある組織は、「他の組織の活動内容等を知りたい」と回答した組織が48%を占めており、活動事例紹介や研修等がSDGsの普及に有効であることが示されている。

SDGsアイデアシートについて(教育機関等との連携状況別)



注) 設問に※を付した設問は有意差あり

資料：令和4年度 活動組織アンケート

### (3) SDGs アイディアシート 試行調査

#### 2) 農村振興リーダー研修における調査

○SDGsに関する研修受講者を対象としてSDGs アイディアシートを配布することにより、SDGsへの取組の普及のあり方について分析。

##### (1) アンケート調査対象

対象者 : 令和4年度に農村振興リーダー研修(全国農業振興技術連盟)※を受講した活動組織代表者等

##### (2) アンケート方法

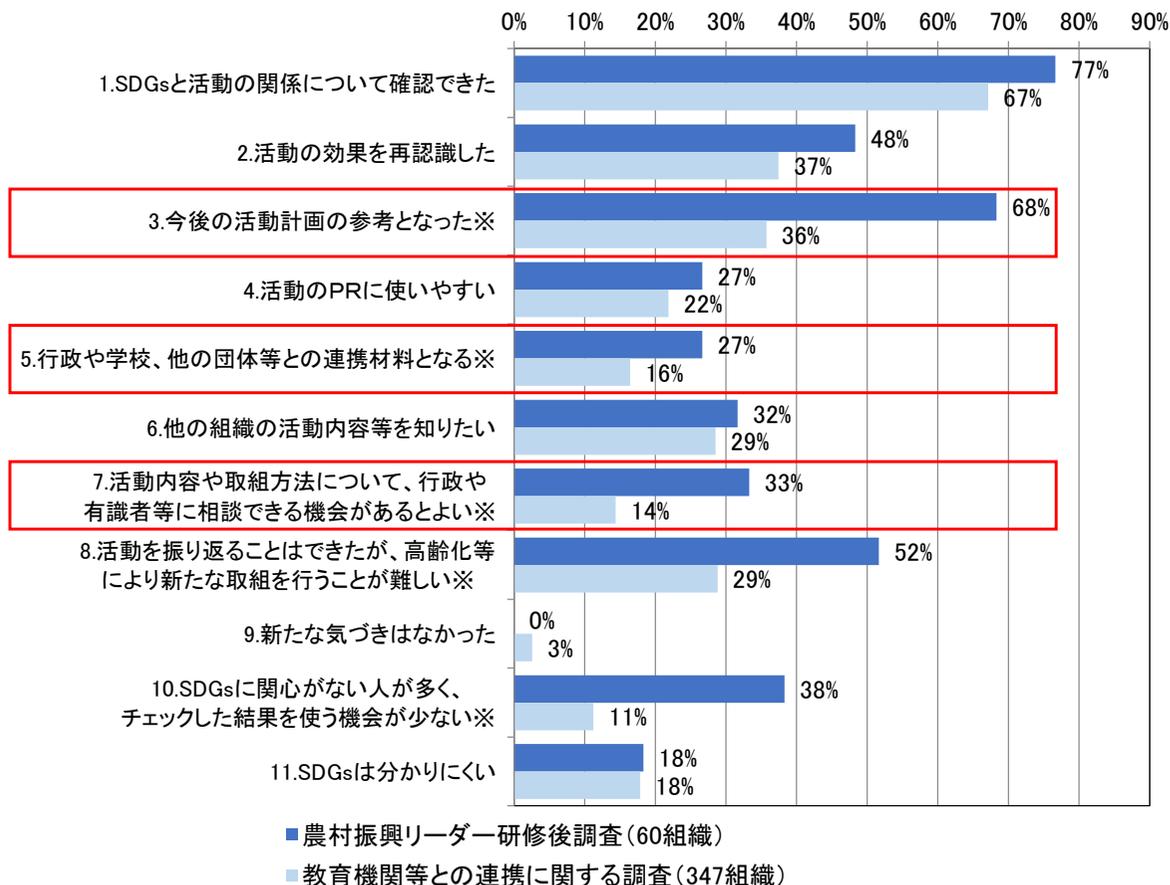
農村振興リーダー研修受講終了後にSDGs アイディアシート及びアンケート票を配布し、後日郵送により回収  
アンケート配布組織数146組織、回答組織数60組織(回収率41%)

※農村振興リーダー研修：平成19年度に「農地・水・環境保全向上対策」が制度化されたことを受け、活動組織や地域協議会の代表者、行政担当者等を対象に、毎年地域ブロック単位で開催されている全国農村振興技術連盟主催の研修会。  
令和4年度はSDGsをテーマとした研修を実施。

# ①SDGsへの取組の普及について

- 研修受講後の組織は、受講していない組織と比較して、「今後の活動計画の参考となった」と回答した割合が高い。研修により活動とSDGsの関係が整理され、活動内容や組織運営のヒントとしてSDGsを活用しようとする意識が高まったことが示されている。
- 同様に、研修受講後の組織は「行政や他の団体等との連携材料となる」と回答した割合が高く、連携のきっかけづくりや活動のPRにSDGsの活用が有効と考えていることが示されている。
- 「活動内容や取組方法について、行政や有識者等に相談できる機会があるとよい」と回答した割合も高く、行政、専門家等によるアドバイス・支援が期待されていることが示されている。

SDGsアイデアシートについて



## 【今後の活動計画への活用】

- SDGsを意識した活動をしていなかったため、今後、改めて活動とSDGsを関連付けて行動していく。
- アイデアシートを参考に自分達で出来る活動を選択してみたい。
- 次期活動計画の策定に向け「地域資源保全管理構想」の内容を検討中であり、参考としたい。

## 【活動のPR】

- 自分達の活動がSDGsに繋がっていることを作業の合間に伝えたらびっくりすると思う。
- 今後、配布文書やPR用品等にSDGsマーク等を活用する。
- 活動が「SDGs15の目標」に合致していることを広報誌等に積極的にPRする。
- 花植え活動(景観形成)、水路探検(生き物調査)、田んぼダムの取組をPRしたい。

## 【情報共有や行政、専門家等による支援】

- 定期的に近隣の市町村で情報交換出来るとよい。
- 先進事例集のようなものを作成して欲しい。
- 土地連内部等に有識者等すぐ相談できる窓口があれば助かる。

注) 設問に※を付した設問は有意差あり

# 4. その他の取組

- 多面的機能支払推進室ホームページにSDGsアイディアシートのダウンロードサイトを開設した。
- 本交付金の活動項目から多面版SDGs15の目標がわかるSDGsアイディアシート逆引き表「多面的機能支払 活動－SDGs整理表(案)」を作成し、多面的機能支払推進室ホームページで公開した。
- 今年度末に実施する「自己評価・市町村評価」の調査票と合わせて、SDGsアイディアシートを対象活動組織に配布した。

## SDGsアイディアシートのダウンロードサイト

### 「多面版SDGsアイディアシート(案)」について

「多面版SDGsアイディアシート(案)」は、多面的機能支払の具体的な活動や組織体制・運営方法と各目標の関係をチェックシート形式で整理したものです。各活動組織が実施している取組にチェック印を入れて、目標毎のチェック数を数えることで、どの目標の達成にどの程度貢献しているかを簡単に確認できるようになっています。

※「多面版SDGsアイディアシート(案)」は試行中のため、アイディアシートの内容が変更される可能性があります。

多面版SDGsアイディアシート(案)(EXCEL: 516KB)

### 多面的機能支払 SDGsアイディアシート(案)

SDGs達成に貢献する活動の実施状況を確認してみましょう

①実施している取組にチェックをつけてください

1 資源と環境(地域資源と農村環境の保全等への貢献)

13 気候変動及びその影響を軽減するための強靱性を確保する

14 海洋資源を保全する

15 陸域における生物多様性を保全する

②活動組織のSDGs達成に向けた活動の実施状況を確認してみましょう

SDGsの達成へ貢献	I 資源と環境					II 社会				III 経済				IV 地域協働力	
	目標6	目標13	目標14	目標15	目標17	目標1	目標2	目標4	目標5	目標8	目標9	目標10	目標11	目標17	目標17
0	2	1	1	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	1	1
	4					6				1					1

チェック数が少ない分野の目標に貢献できる活動を、ほかに何かできないか検討してみるといった活用も可能。

## SDGsアイディアシート逆引き表(一部抜粋)

### 多面的機能支払 活動－SDGs整理表(案)

活動項目	説明(具体的な活動等)	目標	多面版15の目標
農地維持	地域資源の基礎的な保全活動	草刈り、泥上げ等地域資源の適切な保全管理により、持続可能な農業生産を支える	2 飢餓をゼロに 持続可能な農業生産を支える
	異常気象時の対応	異常気象後の見回り、応急措置を行い、災害に対する強靱性、対応力を強化する	13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する
研修	各種研修等に積極的に参加し、国、地方公共団体、関係団体等との連携や技術、情報の共有化を図る	17 パートナリーシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する	
地域資源の適切な保全管理のための推進活動	構造変化に対応した保全管理の目標に向けた活動により、持続可能な農業生産を支える	2 飢餓をゼロに 持続可能な農業生産を支える	
	構造変化に対応した保全管理の目標(多様な主体・連携型)に向けた活動により、活動組織に参画する主体を増加させる	16 平和と公正をすべての人に 多様な主体の参画による地域づくりを促進する	
資源向上(共同:施設の軽微な補修)			
機能診断・施設の軽微な補修	機能診断による劣化状況等の早期発見、予防保全活動の実施により、安全で災害に強いインフラを作る	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する	
	機能診断による劣化状況等の早期発見、予防保全活動の実施により、施設を長く使う(施設の長寿命化を図る)	12 つくる責任、つかう責任 持続可能な生産・消費を進める	
補修技術等に関する研修	補修技術等に関する研修を行い、安全で災害に強いインフラを作る	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する	
	補修技術等に関する研修を行い、災害に対する強靱性、対応力を強化する	13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する	
	各種研修等に積極的に参加し、国、地方公共団体、関係団体等との連携や技術、情報の共有化を図る	17 パートナリーシップで目標を達成しよう 地域協働の力により目標を達成する	

# 5. 今後の進め方（案）～来年度の方針～

